

北海道のあるべき姿を考えるポイントについて

国土交通省北海道局

令和4年3月28日

- 次回の計画部会では、我が国の課題解決に向けた役割毎に、2050年の長期を見据えた『北海道のあるべき姿』を検討する
- 『北海道のあるべき姿』を描くにあたっては、以下のポイントが重要になるのではないか

北海道の役割①：分散型国づくりを支える地方創生を先導する

- 人口減少・少子高齢化が進む中で、地方部に安心して暮らし続けることができ、地域の将来を担う人材を育て、引きつける地域社会を築くにはどうすべきか。また、「生産空間」での暮らしを支える「北海道型地域構造」を将来にわたり持続・発展させるためには何が必要か
- グローバル経済が不安定化する中で、北海道の強みを活かしながら安定的で自立した地域経済を築くにはどうすべきか
- 地方部の暮らしに活力をもたらすために、地域の基幹産業（農林水産業、観光等）はどうあるべきか

北海道の役割②：豊かな土地・水資源等を活かして我が国の食料安定供給を支える

- 人口減少に伴う労働力不足、地球温暖化による影響等が懸念される中で、北海道が引き続き我が国の食料供給を担っていくにはどうすべきか
- 我が国の食料供給を担う一方で、付加価値率の低さが指摘される北海道の農林水産業は今後どうあるべきか

北海道の役割③：豊富な地域資源を活かして我が国の脱炭素化を先導する

- 豊富な再生可能エネルギーの賦存量に恵まれた北海道において、今後のエネルギー供給のあり方はどうあるべきか
- 積雪寒冷、広域分散型社会、豊富な森林資源などの特色を持つ北海道において、カーボンニュートラルに向けた取組をどう進めるべきか

北海道の役割④：国民共通の財産である北海道の自然・環境・文化を受け継ぐ

- 北海道の特色ある自然や文化を守り、伝えていくためにはどうすべきか
- 北海道の豊かな自然と共生し、持続的な社会を築くにはどうすべきか

北海道の役割⑤：生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくりを図る

- 気候変動による水災害等リスクの増大や日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震等の大規模災害が想定されている中で、積雪寒冷地特有の災害への対応も含め、生命・財産を守り、社会の重要な機能を維持するためにはどうすべきか

北海道の役割⑥：競争力のある産業を育成し日本の経済成長に貢献する

- 戦略産業である「食」と「観光」が世界を見据えて成長するためにはどうすべきか。
- 北海道の恵まれた再生可能エネルギーのポテンシャルを活かした産業の裾野を広げるにはどうすべきか
- 北海道の強みを活かしながら我が国の経済成長に貢献するために、どのような産業を育成していくべきか